

上越市民の歌 「このふるさとを」

新しい上越市民の歌が完成しました。

一、山のめぐみ豊かに 水は流れる

海のめぐみ豊かに 風は光る

きこえてくるのは 山の歌

きこえてくるのは 海の歌

ああ きこえてくるのは 希望の歌

ひとりひとりの 歌声が 今

風となり 光となって

明るくつむ このまちを

美しいふるさとを 抱きしめていこう

どこまでも どこまでも

二、やわらかに雪あかり 心をてらす

元気にまつりばやし 夢もおどる

きこえてくるのは 父の歌

きこえてくるのは 母の歌

ああ きこえてくるのは 船出の歌

ひとりひとりの やさしさが 今

虹となり 未来となって

大きくはぐくむ このまちを

大好きなふるさとを 歩きつづけていこう

いつまでも いつまでも

新しい上越市民の歌

このふるさとを

坂水長嗣 (低声用)

作 詞 上原みゆき
補作詞 杉 みき子
作 曲 後藤 丹



言葉一つひとつに
願いを込めて
作詞者 上原みゆき(板倉区)



誰の心にも残る
ふるさとを愛唱歌に
補作詞者 杉みき子(文学者)



シンプルで覚えやすい
メロディーに
作曲家 後藤丹(上越教育大教授)